

齋宮インタビュー

「齋宮跡国史跡指定の頃」聞き取り調査

1 目的

三重県多気郡明和町に所在する国史跡齋宮跡は、史跡指定から35年を経て、本年秋には、新しい史跡公園「さいくう平安の杜」が完成する予定である。

こうした史跡の調査や整備は、史跡内に暮らし、土地を保有していた住民（地権者）の方々の多大な協力によるものである。しかし、住民の間にも世代交代が顕著で、意識の変化も起こりつつある。そのため、史跡指定当時の状況や経緯を知る世代の人々から聞き取り調査を行い、文章として記録し、後世に伝えていく事業を行う。

以上の事業の聞き取り調査の依頼を齋宮歴史博物館より受けたものである。

2 実施日

平成27年8月13日(木) 13:00～17:00 4人から聞き取り
平成27年8月18日(火) 13:00～17:00 2人から聞き取り

3 実施場所

「齋宮歴史博物館」（両日とも）および
「いつきのみや歴史体験館」（13日のみ）

4 実施内容

8月13日(木)

博物館：回答者：辻孝雄氏、北村純一氏

聞き取り者：逸見暁人(本学学生)、朴恵淑教授

体験館：回答者：中川肇二氏、永島喬氏

聞き取り者：岡田大明、北遙海(本学学生)、池村進

インタビュー内容は別紙に掲載する。

8月18日(火)

博物館：回答者：木戸口真澄氏、副田慶博氏

聞き取り者：逸見暁人、北遙海(本学学生)、朴恵淑教授、池村進

インタビュー内容は別紙に掲載する。

聞き取り調査内容を文章化（対談式）して、デジタルデータとプリントアウトを博物館に提出した。

8月13日(木)のインタビューの様子



インタビュー光景 1



インタビュー光景 2

8月18日(火)のインタビューの様子



インタビュー光景 3



インタビュー光景 4

5 成果と課題

国史跡齋宮跡は史跡指定から35年が経つが、史跡内に暮らし土地を保有されていた住民(地権者)の方々の齋宮・齋王に対する意識をお伺いできたのはたいへん貴重な経験であり、齋宮・齋王に対してこれまで以上に興味関心をもつことができた。

インタビューの中で話された、史跡指定当時またはそれ以前の齋宮の土地の様子やそこで暮らしていた住民の方々の生活の様子もお伺いし、地元の歴史の探求意識が向上された。

インタビューは、慣れないためか、会話進行の戸惑いもあり、回答者を混乱させる場面もあった。また、録音データのテープ起こしも文章化されたものに不明な点があり、何回か書き直した経緯があった。

しかし、これらの点も経験を積むごとに技術も向上するものであり、今回の調査の経験を活かし、次に繋げていきたい。

6 資料

聞き取り調査項目 (別紙1)

インタビュー内容の概要 (別紙2)

インタビュー内容の会話文(原案) (別紙3)